

住宅用火災警報器の種類

感知方式には、煙感知式と熱感知式があります。



煙感知式

火災時に発生する煙を感知し、警報音が鳴ります。寝室、階段、台所、に取付けることができます。

わたくしの種類を紹介します！



熱感知式

一定の温度以上になると、警報音が鳴ります。台所での調理時に煙や蒸気が滞留する場合は、熱感知式をおすすめします。



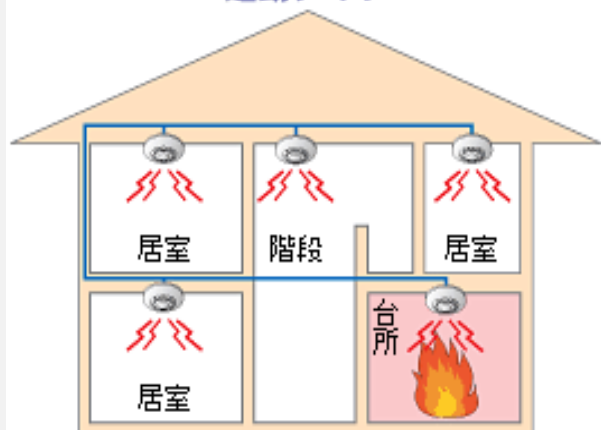
連動型

連動型は、1台の火災警報器が火災を感知すると、接続されている全ての火災警報器が警報音を発します。

連動型の設置をおすすめしています！！



連動タイプ



連動型には、別の階や離れた部屋での火災にも素早く対応できるというメリットがあります。

※従来の連動型は有線式で、配線工事が必要でしたが、最近のワイヤレス連動型（電池式）であれば配線も不要なので、個人で取付けることが可能です。



・電源のタイプは、乾電池タイプと配線タイプの2通りが市販されています。